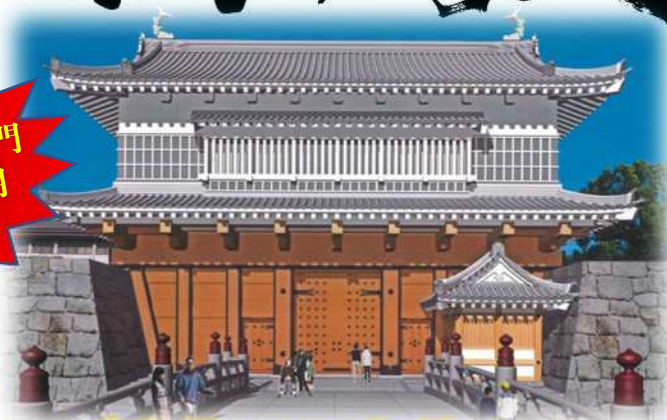


鶴丸城

# 御楼門

日本最大の城門  
令和2年3月  
完成予定



完成イメージ図

## ご自分・ご家族のお名前やメッセージを 御楼門・未来に残しませんか？

薩摩藩・島津家の居城、鶴丸城（鹿児島城）本丸の正面にあった御楼門は、明治6年（1873年）の火災により焼失しました。

現在、県と民間で構成する「鶴丸城御楼門建設協議会」では、令和2年（2020年）3月の完成を目標に、高さ・幅とも約20メートルの日本最大の城門となる御楼門の建設に取り組んでいます。

協議会では、完成に向けた機運醸成を図るとともに、県民の皆様へ御楼門への愛着を持っていただくため、このたび『瓦記名会』（第2弾・海鼠瓦）を開催します。今回は最後の機会となりますので、是非ご参加ください。

【会場】 県歴史資料センター黎明館（鹿児島市城山町7-2）

茶室「楠芳亭」<sup>なんぼうてい</sup> ※本館裏側別棟

なまこがわら  
第2弾・海鼠瓦  
参加者募集!!

【日時】 10月26日(土)・27日(日)  
11月 9日(土)・10日(日)・30日(土)  
12月 1日(日)

午前/10:00～12:00 午後/13:30～16:30  
受付/ 9:30～11:30 ・ 13:00～16:00

一生の記念に!  
後日、記名瓦の  
使用箇所をお知らせ!!

限定300枚  
なくなり次第終了

【参加料】海鼠瓦(なまこがわら) 1枚 8,000円

- ・ 個人、ご家族などで1枚の瓦にお名前、メッセージなどをお書きください。
- ・ 記名いただいた瓦は2階外壁に使用します。
- ・ 参加者には、後日、瓦の使用箇所をお知らせします。

※詳しくは、チラシ裏面をご覧ください。



使用する海鼠瓦  
(縦68cm×横38cm)

主催 鶴丸城御楼門建設協議会 [協力:江藤・丸久・宇都JV(工事施工者)]

〈事務局〉 鹿児島県文化スポーツ局楼門等建設推進室

☎099(286)2506 mail:goroumon@pref.kagoshima.lg.jp

建設工事特設サイト <https://tsurumarujyo-goroumon.com>



[特設サイト]

# 《記名会で使用する海鼠瓦（なまこがわら）について》

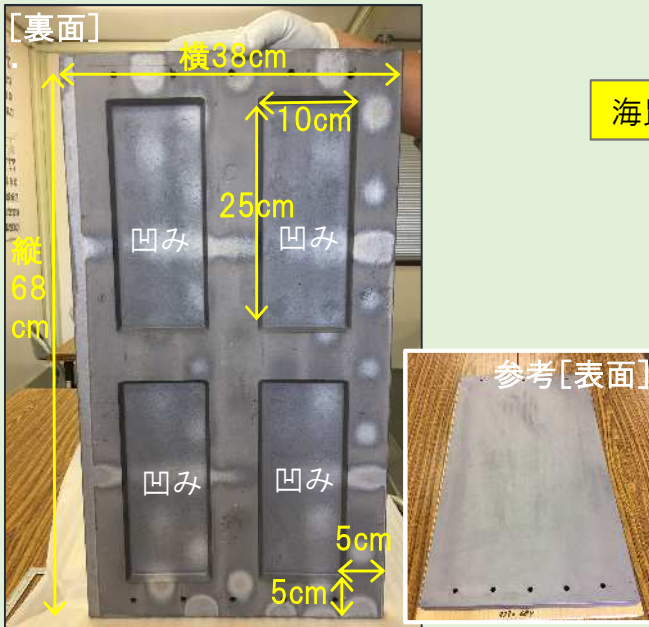
～ご参加の前に、ご確認・ご了承ください。～

**瓦の裏面（記名いただく面）には凹みがあります。**事前に、書く内容やレイアウトをご検討いただくことをお勧めします。（瓦裏面：下の写真参照。凹み：縦25センチ×横10センチ×深さ1センチ）

ご参加の記念として、後日、瓦の使用箇所を示した「使用証書」を参加者に送付いたします。

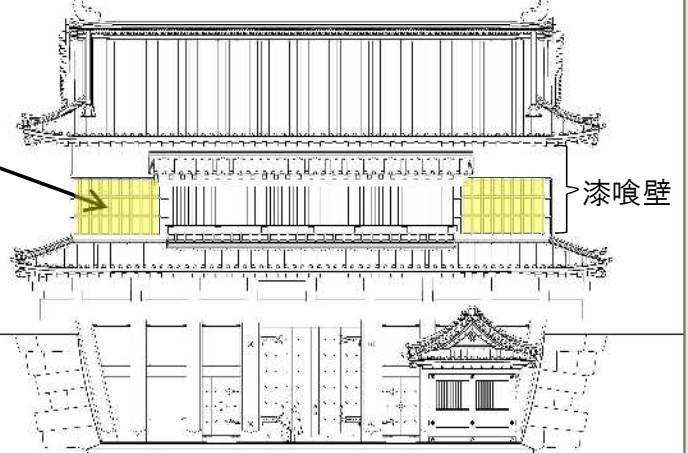
※瓦の使用箇所は指定できません。

【海鼠瓦】サイズ：縦68cm×横38cm、重さ：約12kg



海鼠瓦

＜海鼠瓦の使用箇所 例：建物前面＞



※ 海鼠瓦は、建物2階（前後左右）の壁面に使用します。

海鼠瓦は、2階外壁の漆喰壁の四方に並べて貼ります。瓦間の目地に盛り上げて塗られた漆喰がナマコの形に似ていることから、この工法の壁を「海鼠壁」と呼びます。今回、御楼門には約300枚の海鼠瓦を使用します。

## 《参加方法、注意事項》

- ご都合のよい開催日の受付時間内に、会場までお越しください。（予約不要）参加者多数の場合、記名いただくまで会場内でお待ちいただくことがあります。
- 車椅子でご来場される方は、恐れ入りますが、事前（平日）に協議会事務局までご連絡ください。（電話番号099-286-2506）
- 参加者自らで瓦に記名してください。（主催者による代筆は行いません。）なお、記名には、墨筆、油性マジックを使用していただけます。
- 記名の際、墨や油性マジックが、着衣や手指等につく恐れがありますので、ご注意ください。
- 記名いただいた瓦は、御楼門2階の壁面に使用します。使用箇所の指定はできません。
- 参加料は、会場受付にて現金でお支払いいただきます。お釣りのないよう御協力ください。いただいた参加料は、鶴丸城御楼門建設協議会の事業費に充てさせていただきます。
- 開催記録やPR等を目的として、参加者や記名された瓦を撮影し、県ホームページ等の媒体にその画像を掲載させていただくことがありますので、ご了承ください。  
※ ご了承いただけない場合は、受付時に担当者まで申し出てください。
- 施設の駐車場には限りがありますので、来場には公共交通機関のご利用をお願いします。

